

# 秋田県 議会便り No.31

# こんにちは



発行 石田 寛

県議会控室 TEL.018-860-2070  
〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1  
大館事務所 TEL.0186-42-1877  
〒017-0896 大館市宇大館105

## ごあいさつ

里の紅葉が真っ盛り、鮭の遡上も見られる季節を迎えましたが、皆様はいかがお過ごしですか。私は相変わらず忙しく動き回っております。

林活地方議員連盟全国連絡会議幹事長として林野庁を訪れ、牧元幸司長官と懇談してきました。その後、林活地方議員連盟全国連絡会議の最初の役員会を11月7日に開き、全国の仲間と2年間頑張ることを誓い合いました。市民の皆様からご意見などをお寄せいただき、森林・林業・林産業振興に今まで以上に全力で取り組む決意ですので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



## クルーズ船ダイヤモンド・プリンセスの見学会

建設委員会として船内視察に参加しました。客船の概要は総トン数115,875トン、乗客定員2,706人、全長290m、全幅37.5mですので、甲板を一周するのも大変だろうと思いました。港の外では小さく見えた船は、近づくときと大きすぎて全景が見られないほどの迫力でした。

前日は北海道函館に入港予定でしたが、台風21号と胆振東部地震の影響で中止となったため、ツアーを楽しみにしていた船客は、あいにくの雨模様に関わらず次々と下船していきました。秋田でのツアーは男鹿半島や角館武家屋敷などが人気を集めているとのことでした。

船内は16階建てでエレベーターを使った移動となります。プールは2ヶ所あり、映画は3ヶ所で見ることができ、レストランも数ヶ所あり、寿司コーナーもありました。見学は1時間経過しても終わらず90分を超えました。

年々、秋田港へのクルーズ船の寄港が増えているので周辺の整備に追われております。ほとんどが海外からの旅行者なので秋田市内を闊歩している姿が多く見られるようになり、国際色豊かな街になってきたと感じています。



## 「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録への要望活動

9月26日「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録を推進する県議会議員連盟は、米田進教育長と地元関係の国会議員とともに「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界遺産登録推進議員連盟会長でもある鈴木俊一衆議院議員に登録に向けた要望を行いました。

秋田県の大湯環状列石(鹿角市)と伊勢堂岱遺跡(北秋田市)を含む17の遺跡群を世界遺産に登録する取り組みが、本県を初め、青森県、岩手県、北海道と関係市町の連携・協力により進められています。これまで縄文遺跡群は平成21年に暫定一覧に登録をされておりますが、平成25年に文化庁へ推薦書案を提出して以来、これまで4回にわたり、国からの推薦は見送られています。国の推薦は1ヶ所まで来年の2月1日までにユネスコへ推薦書を提出することになることから登録に向けた要望をさらに強化してまいります。



## 県政報告会

報告者

秋田県議会議員 石田 ひろし  
○イージス・アショア配備について

日時

11月16日(金) 午後6時

会場

大館労働福祉会館

ゲスト

講師 全国生活保護問題対策会議事務局次長  
田川 英信氏

演題

「健康で文化的な最低限度の生活」とは?  
～ナショナルミニマムとしての生活保護～

※どなたでも参加できます

主催 石田 ひろし ☎090-8926-0389

皆さまのご意見を  
県政に届けます!



## 建設委員会の主な質疑



### ■ 県有建築物大規模修繕事業について(危険ブロック塀の撤去)

質問 ブロック塀について、昭和53年の宮城沖地震で塀が倒れて亡くなった人がおり、これを受けて公共施設は既に対応済みと思ったが、まだ公共施設にも危険箇所が残っているようだ。宮城沖地震後も何度か大地震を経験したが、この40年間に県は何も対策をしてこなかったのか。

回答 当時も大きなニュースになり、県でも対策に取り組んできた。これまでは、実際に傾いたり、亀裂が入ったり、目で見て明らかに危険なものの対策だったが、今回は、再度調査し、現行の建築基準法に合致しないものを改修するものである。



質問 技術的な面からも、県の指導は非常に効果的だと思うが、ブロック塀のパトロールや指導はどこが担当しているのか。

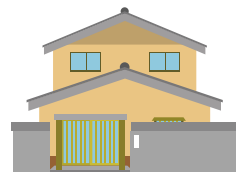
回答 民間施設を含めて、特定行政庁の所管となり、秋田市と横手市以外は県の建築住宅課が所管している。

質問 事故防止のため、パトロールなどを市町村と連携して取り組んでほしい。公道に面しているということでは、空き家や立木も危険な場合があり、ブロック塀と同様に考える必要があると思うがどうか。

回答 建築基準法上の防災に関しては、機会を捉えて、違反建築物や管理上問題がある建築物の状況把握に努めている。特に、毎年2回9月と3月に防災週間を定め、市町村と連携し重点的に取り組んでいる。

質問 ブロック塀、空き家、立木など、台風等で危険が迫り、実際に人命にかかわる時には、所有者の問題もあろうが、どのような対応になるのか。

回答 一義的には所有者の対応だが、見つからない場合には、市町村を通じた対応になる。空き家等に関しては、独自に条例を定め、代執行を行っている市町村もあるので、連携して取り組んでいきたい。



質問 財源の問題で市町村が対応できない場合もあり、県の助成制度はあるか。

回答 県内の空き家率が12%にもなっていると聞く。地震や台風などの災害時には人命にかかわるので、空き家対策にも積極的に取り組んでほしい。

質問 財源の問題で市町村が対応できない場合もあり、県の助成制度はあるか。

回答 県内の空き家率が12%にもなっていると聞く。地震や台風などの災害時には人命にかかわるので、空き家対策にも積極的に取り組んでほしい。

### ■ 道の駅「ふたつ」の出入口と日沿道の整備について

質問 新しい二ツ井の道の駅が賑わっているが、混雑のためか、出入口がわかりにくいと感じたが、今後の改善予定などはあるのか。

回答 将来的に高速のインターが完成すれば、国道を挟んでインターから直結するようになっている。今はインターがないので、少しいびつな形になっている。

質問 素晴らしい道の駅の完成により、高速道路がつながることに対する期待感が高まってきているが、完成の見通しはどうなっているか。

回答 県としても早期開通を望んでおり、直営で鷹巣西道路を施工して頑張っているが、二ツ井今泉道路等の国直轄の部分で、まだ用地買収が完了しないとこともあり開通時期を示せない状況にある。

質問 秋田犬の効果もあり、大館能代空港の利用も伸びている。高速道路が開通することで、増便等の可能性も高まっていくので、そのような認識も持って取り組んでほしい。



回答 高速道路はつながってこそ機能が発揮されるので、早期供用を目指し、用地買収等での協力を含め、様々な機会を捉えて国に働きかけていきたい。

## ナガマツペアに県民栄誉章

10月2日、8月に行われた第24回世界バドミントン選手権大会(中国・南京)の女子ダブルスで優勝した北都銀行の永原和可那さんと松本麻佑さんのお二人が秋田県庁正庁で、職場の仲間やバドミントン教室の子どもたち多数の出席の中、県民栄誉賞顕彰式に臨みました。うれしそうなお二人の笑顔が素敵でした。

式典終了後に実技を見せてくれたのですが、あまりのスピードに会場はどよめきました。ところが解説の方が試合ではもっと早いと言っていたので、さらにびっくりしました。北都銀行にはオリ

ンピックを目指す二組の選手がいるのでこれから楽しみです。これから厳しい試練が続くと思いますが頑張ってください。

